

「交通権」と「健康権」を守るたたかい

2026.7.4 中央社保協総会

群馬県社会保障推進協議会

事務局長 町田茂

1. 「健康権」 ～群馬県民は なぜ短命なのか～ SDH/健康の社会的決定要因

○65 歳からの平均余命

男性 全国 42 位 (19.6 年) 女性 全国 43 位 (24.4 年) 男女ともに短命にある

○「食品」・・・群馬県民の食生活は健康的

納豆消費量 全国 4 位 (かつては全国 1 位)

乳酸菌飲料 全国 2 位 (”)

ヨーグルト消費量 全国 8 位

野菜摂取量 全国 3 位

生鮮肉消費量 全国 47 位

マグロ消費量 全国 2 位 サケ消費量 全国 4 位

アルコール消費量 全国 29 位 塩分消費量 全国 17 位 喫煙率 11 位

→ 肉類を控え、野菜・納豆・魚中心の食生活。また乳酸菌飲料やヨーグルトを好んで食べる。喫煙率、塩分消費量がやや高いものの、「食品」で言えば長寿県になるはず。

○ 健康診断率 (がん検診) は、全国平均を上回る。健康診断率は高い。

※なぜ群馬県は短命なのか

○「労働」・・・長時間労働の実態

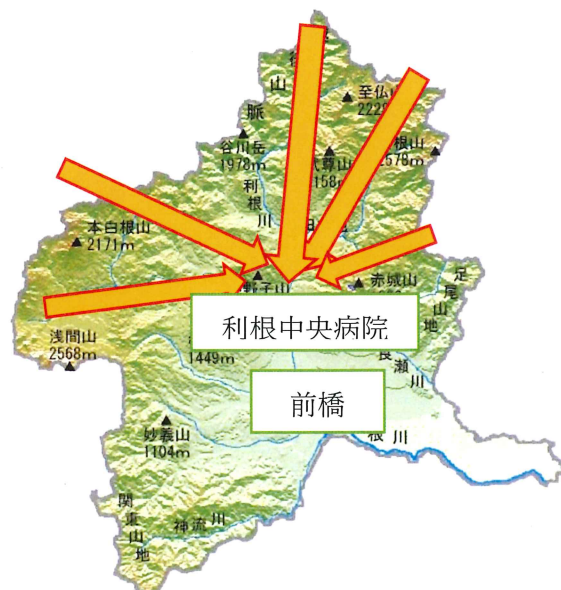
実労働時間 女性 全国 1 位 (172 時間/月) 男性 全国 13 位 (182 時間/月)

○ 貧困・・・「勤労世帯の実収入 (2023 年)」

群馬県 54.0 万円/月 全国平均 60.0 万円/月→世帯収入は全国平均より月 6 万円低い

○ 受診率・・・受診率全国 35 位

○「交通」・・・医療機関までが遠く、医療へのアクセスが制限されている。



東京 23 区よりも広い面積の救急医療を、一つの総合病院が支えている。一番遠い地域では救急車で病院まで 1 時間かかる。搬送中に亡くなるリスクが高い。

○医療過疎を背景にした死亡者の増加

高血圧疾患死亡者数	全国 1 位	(10 万人あたり 21.1 人)
出生数 1000 あたりの乳児死亡数	全国 7 位	(2.2 人)
出生数 1000 あたりの死産数	全国 9 位	(21.5 人)
人口当たりの患者数	全国 43 位	

※ 容態急変から病院に搬送されるまでの所要時間が長い。交通は社会保障の一部である。

3. 「交通権」の確保 健康権を保障するために医療へのアクセスを確保する。

○高齢者の運転が、いま社会問題に

全国各地で毎週のように報じられている高齢者の事故。前橋市でも 2019 年大きな事故が起きた。

事故を起こしてからでは、もう遅い。

命を奪ってしまうこともある。

2019 年に池袋で起きた事故は特に社会の

関心が高く、加害者に厳罰を求める声が高まった。



○高齢者・障害者の社会参加

外出機会の増加。認知症やうつ病の発生リスクを抑制していくことにある。「尊厳とは、最後まで自己決定できること」

○民主老人クラブ たかさご会アンケート

<交通で困っていること>

- ・車の運転ができなくなった時、足の確保が大変。(11 人)
- ・車に乗れなくなったら、歩きでは生活に困ります。(9 人)
- ・免許編返納後がとても心配で返納できない (5 名)
- ・免許を返納後、経済的にも負担があり不安です。(3 名)
- ・電動三輪車に買い替えようと思っているが高価です。
- ・商店が近くにない。不安。バス停が近くにない。毎日タクシーには乗れない (3 人)
- ・医者から自転車に乗らないように言われている。
- ・足が悪いので子供に頼っています。ただし日曜日のみ。

<免許返納後に何を望んでいるか>

- ・デマンドタクシー・デマンドバス (5 人)
- ・市による乗り合いタクシー (3 人)
- ・タクシー代助成 (5 人)
- ・電動三輪車、買い替え補助金 (1 名)
- ・格安な公共交通
- ・巡回販売カー
- ・手を開けたら止まってくれる ぐるりんバス (市内循環バス) を使いたい (2 人)

○高齢になっても、自分らしく生きるために

2019 年から高齢者の交通対策を県社保協の重点課題にあげ、全自治体キャラバンで要望書を提出し、



懇談を重ねてきた。主要要請はデマンドバスやタクシー代助成制度の新設と拡充。群馬県では 35 市町村中 32 市町村で、デマンドバス・タクシー代助成の両方またはどちらかがある。

4. 「健康権」と「交通権」 高齢者 障害者の通院・買い物手段の確保

通院手段の確保 ～自分の地域にふさわしい交通政策を見出していくことが重要～
35 市町村中 32 市町村で、デマンドバスまたはタクシー代助成がある

▼都市部・平野部ではタクシー代助成が普及しやすい。

(平地は移動が 360 度で乗り合いが発生しない。乗り合い率 1.2。タクシーが普及)

▼山間部や郡部では、デマンドバスが普及しやすい。

(山により道が限定され、乗り合いが発生。乗り合い率 1.4。タクシー乗らない。
郡部では、乗客がなく、空気を運んでいる大型の路線バスが非効率に見える。)

■デマンドバス (On-Demand Bus) とは

デマンドバスは、利用者の要求に対応して運行する
形態のバス。定まった路線を走るのではなく、電話予約で利用者の呼び出しに応じることで、適宜ルートを変えて運行されるバスのこと。群馬では自宅と目的地とのドアツードア形式が出始めている。運賃も 200 円/回 前後とタクシーに比べて低額である。



○デマンドバスの取り組み例 (一部を掲載)

富岡市 (人口 4.5 万人)

デマンドバス「愛タク」 年間 47,473 人が利用。 200～300 円/回

安中市 (人口 5.0 万人) 年間 約 5 万人 300 円

沼田市 (人口 4.3 万人)

デマンドバス「ぬまくる」年間 11,199 人が利用。200 円/回

みどり市 (人口 4.8 万人)

デマンドバス「電話でバス」 年間 20,137 人が利用。150 円～400 円/回

太田市 (人口 22.2 万人)

デマンドバス「おうかがい市バス」 年間 18,088 人 200～300 円

神流町 (人口 0.16 万人) 高齢化率 全国 2 位 (1 位 群馬県 南牧村)

デマンドバス「福祉バス」 年間 5,417 人 無料

昭和村 (人口 0.7 万人)

デマンドバス「ベジバス」 年間 約 6000 人 200 円～400 円/回

大泉町 (人口 4.1 万人)

デマンドバス「ほほえみ」 年間 約 4000～5000 人 料金 町内 100 円 町外 300 円 ※
ドアツードア形式

明和町（人口 1.0 万人）

デマンドバス「チョイソコめいわ」 年間 約 2000 人 料金 無料

○デマンドバスの中心は郡部・中山間地域

35 市町村中 20 市町村で実施。電話で予約して自宅または最寄りのゴミステーションまで迎えに来る。デマンドバス利用の 7～8 割が通院目的。残り 2～3 割が買い物と通学目的。主な自治体の中でも太田市と大泉町、明和町を除くと中山間地域が主流となる。

山間部では交通路や向かう方向が制限されることにより乗り合いが発生して効率的なデマンドバス運用が可能になる。また山間部はタクシー会社がない、タクシーに乗る文化がない、1 回のタクシー代が 5000 円以上かかる等の理由でタクシー代助成が普及しない。車両はハイエース(9 人乗り)が主流。

■タクシー代助成とは

平地・都市で普及する「タクシー代助成」。

タクシー代助成は、群馬県では年間 3 万円前後の助成額が平均で取り組まれている。平地では、利用者の向かう病院やスーパー等が 360 度方向に分散するため、乗り合いを前提としたデマンドバスの乗り合いが発生しにくい。そのためデマンドバスよりもタクシー代助成が普及している。



○タクシー代助成の課題

郡部ではタクシー会社の倒産や縮小、運転手の高齢化が顕著で、タクシー代助成を導入ができない。そもそも運転手やタクシーが少ないのである。山間部では町にタクシー会社が 1 社もない自治体があり、そこでは「町民の税金が他の町に流れてしまう」と別の理由でタクシー代助成に反対の声もあがることもある。タクシー代助成の利用目的の 8 割が通院、残り 2 割が買い物や市役所との状況がみられる。35 市町村中 25 市町村で実施されている。

○タクシー代助成は民業圧迫にならない

タクシー代助成の場合、民間のタクシー会社を活用して助成するためデマンドバスのような「民業圧迫」とはならず、「民業支援につながる（前橋市）」との意見が多く聞かれる。しかし地元タクシー会社が小規模の自治体でタクシー代助成をおこなうと、需要に供給が追い付かず「タクシーを呼んでも来るまでに 1 時間以上かかる（玉村町）」事態が発生している。



○タクシー代助成の取り組み例

前橋市（人口 33.0 万人） 免許ない高齢者。年間利用実績 202,955 回 金額 145,363,980 円/年。

千代田町(人口 1.1 万人) 免許ない 75 歳以上。年 2.4 万円。買い物券にもなる。

嬬恋村（人口 0.9 万人） 65 歳以上。一人あたり年 8 万円。1381 人登録。4,772,000 円/年

中之条町(人口 1.5 万人) 65 歳以上 免許ない方。445 人登録。11,415,500 円/年

玉村町（人口 3.5 万人） 65 歳以上。 1481 人登録。10,132,500 円/年 電話してから 1 時間待つ。
下仁田町（人口 0.6 万人） 自己負担ゼロのタクシー券。交通不便地域 年 22 枚 街中 10 枚

○ 1 回乗車あたりに助成制限があることが多いタクシー代助成。

前橋市のように半額を助成する自治体、1 回乗車で全額使える自治体など様々。また 1 人が 1 回乗車で使える金額の上限を 500 円（館林市）、前橋市 1000 円（前橋市）としている自治体もある。1 回乗車当たりの上限額があり自治体では、住民数人が相乗りでタクシーを利用して 1 回あたりの使用金額を増やす工夫をしているところもある。

（高齢者の交通対策ではなく、民間タクシー会社の経営支援としておこなっている自治体もあり、そこではタクシーの乗車回数を増やすことが目的になっているため、1 回乗車当たりの使用金額に制限をかけている）

■ 高齢化、医療過疎に挑む群馬県上野村

群馬県で最も医療過疎地域にある自治体の一つ「上野村」

日航ジャンボ墜落事故（1985 年）の御巣鷹山がある村。

最も近い総合病院まで、自動車で 1 時間 10 分かかる。

年 2 回の住民 全戸訪問と健康診断の結果説明、アウトリーチ役場の職員による日々の訪問介護。日々の受診声がけとデマンドバスによる通院確保（ドアツードア）。365 日配食サービスなど。

→ 平均余命、男性 84.1 歳、女性 85.5 歳。

健康寿命 男性 82.0 歳、女性 81.1 歳。

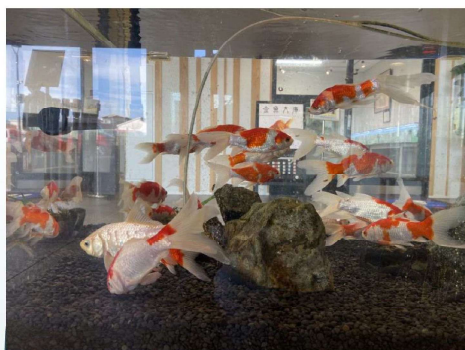
週 4 日のへき地診療所 1 か所のみで、群馬県で最も健康長寿の自治体になった。

交通権の確保と住民アウトリーチ、ヘルスプロモーションで「健康権」の保障が進んでいる。



■ これからの交通権の課題

- ・ 残る 3 自治体 長野原町、川場村、南牧村に広げる。片品村の福祉バスをデマンドバスに代える。
- ・ エリアごとに分かれているデマンドバス（沼田市・前橋市）の改善
- ・ タクシー代助成の金額増額と、1 回あたりの使用枚数を増やす取り組み。
- ・ マイナンバーカードを必須にしている自治体へ。マイナンバーカード提示義務化の撤回



大和郡山市における 地域社保協結成に向けて



2026年7月5日
奈良県社会保障推進協議会

会長 藤垣全弘
大和郡山市社保協準備会事務局
中嶋潤二

1

2025.11.14 大和郡山市キャラバン福祉部交渉の一コマ

(中嶋) 未就学の子どもの医療費を無償にするのにいくらぐらいかかりますか？

(担当課長) 約1500万ぐらいです。

(中嶋) 大河ドラマにどれくらい予算かかるんですか？

(福祉部長) 1億8千万ぐらいやと思います。

→結果的に新聞報道では大河ドラマ予算は2億8千万。

→お金がないのではなく優先順位やろ！

2

2, 大和郡山市における自治体キャラバンの動き

今年が 33 回目となる県内でも先進的な取り組みをしてきた大和郡山市キャラバンですが、例年の大まかな取り組みの経過は以下の通りです。

9月初めに第1回大和郡山市キャラバン実行委員会

→実行委員会体制を確認してと思いますが、実行委員長は夜久さん、事務局は吉本さん(市教組)、松村さん(市職)ですかね。

9月中に統一要求書の作成、第2回目実行委員会(9月末)で確定する。

10 月初めに統一要求書を市に提出、交渉日程を確定するための折衝

→同時に各団体独自の「要求書」を 10 月初めまでに提出

2025 年は 11 月5日に全体交渉・市議会要請行動を行いました。

→10 月 22 日(2025 年)に「回答書」がくる。

→12:30～打合せ、13:00～部長会との交渉、14:40～市議会へ要請行動

11 月中旬に各部交渉(2025 年のスケジュールは以下の通り)

日	曜日	10:00～12:00	13:00～15:00	15:00～17:00
12	水		総務部	すこやか健康づくり部
13	木	市民生活部	産業振興部	教育委員会
14	金		福祉部	都市建設部

各部交渉後の動きはわかりませんが、これで一連の大和郡山市キャラバン行動は終了となる。

→実質 9 月から 11 月までの 3 か月間か

3

3, 大和郡山市社保協結成の必要性

(1)全体の自治体キャラバン交渉は例年通り継続を

現地実行委員会結成、統一要求書作成提出、各団体ごとの要求書提出、文書回答がきて全体交渉 11 月第 1 週、第 2 週で各部局交渉、の流れ。この流れでは現地実行委員会立ち上げ(9 月)から各部局終了(11 月中旬)で 3 か月の期間のみの活動。

(2)社会保障に絞った交渉を通年的に

議会は 3 月、6 月、9 月、12 月と年 4 回あり。大きな年度予算は 3 月議会か。それまでにも補正予算案の論議などあり。要望の実現は議会で前進したり後退したり。議会の都度市担当課との懇談、議員への要請行動、市役所前集会など、が必要。

(3)奈良市議会の経験

12 月補正予算で社会保障予算が削減された→議員に懇談、公開質問状、記者会見など。3 月議会でも。生活保護世帯へのエアコン設置に向けて 8 月に保護課と懇談、2 年続けて実施し、その経過で 3 月議会でも実現した。

一方福祉医療制度改善の粘り強い運動(署名行動・3 度の署名提出行動・担当課との懇談県も奈良市も)により 18 歳まで対象拡大、自動償還払いから現物給付に、そして奈良市長の 8 月から未就学児無料の発言までこぎつけたのに議会でシステム改修費減額という流れ。

4

(4) 通年通した社会保障守る運動が必要・・・大きくはこの 4 つか

①子ども医療費無料化、福祉医療制度無料化の実現にむけて・・・県社保協と保険医協会で福祉医療制度改善運動定期的に会議を持ってる→新たな署名の提起検討中。各市町村で対応違うので郡山市としても独自の運動必要。

②国保改善運動・・・県社保協でプロジェクト必要、県の動きと合わせ、郡山市独自での懇談・交渉が必要。郡山市でため込んだ基金の使い道、滞納者への制裁処分の郡山市内での相談活動など

③生活保護問題・・・過去には大和郡山市で通院移送費裁判の事例あり。奈良県の生活と健康守る会の動きと合わせて運動、生活保護世帯のエアコン設置は生駒市に続き奈良市も実現、市町村ごとの懇談・交渉が必要。また暑い夏が来る前に生活保護世帯の高齢者をどう守るのか、早急に懇談必要、例年郡山市内で熱中症搬送・死亡事例あり。

④介護保険改善の運動・・・郡山市の保険料引き下げの運動、介護事業所への助成を求める運動など。この間郡山市内介護事業所アンケートも行っている。協同福祉会との連携も必要。

奈良県社会保障推進協議会 常任幹事の皆様
大和郡山市内各民主団体の皆様

2026 年 3 月 13 日

大和郡山市における地域社保協結成に向けての学習交流会開催のお知らせ (会議場所変更)

奈良県社会保障推進協議会
会長 藤垣 全弘
健康まなびづくり推進部
中嶋 潤二

日ごろの活動に敬意を表します。

さて、中央社会保障推進協議会・奈良県社会保障推進協議会において、地域社保協づくりが大きな課題で取り上げられております。この間大和郡山市において地域社保協を結成しているという話になり、下記日程において学習会を計画しました。

三重県伊賀市において地域社保協を結成（「社会保障」2025 年冬号・資料参照）したという元岡谷会職員の百上宜明氏をお招きし、結成に至る経験話をいただき、実際大和郡山市での地域社保協づくりについて、各民主団体との交流を行いたいと思います。

多くのご参加よろしくお願いいたします。

記

会議場所変更になります

日時：2026 年 4 月 23 日（木）14：00～16：00
場所：大和郡山市役所交流棟 みりおの
2 階交流ルーム

参加申し込み・問い合わせは中嶋までお願いします。

電話：090-4213-8474 メール：j-nakajima@kenseikai-nara.jp
職場：健康まなびづくり推進部（電話：0742-24-7322 fax：0742-24-7333）

以上

第 1 回大和郡山市地域社保協結成に向けての学習交流会開催

日時：2026 年 4 月 23 日（木）

場所：みりおの

・地域社保協づくりの経験を学ぶ
→三重県伊賀市で地域社保協結成の取り組みについて

講師：百上さん（元奈良民区連・岡谷会職員）

・郡山市内各民主団体の交流を行う

・参加 17 名でした。

奈良県社会保障推進協議会

大和郡山市における地域社保協結成に向けて学習交流会

日時：2026年 4月 23日(木)
14:00~16:00

場所：大和郡山市役所横みりおの
2階会議室

プログラム

- 13:00 開場
- 14:00 開会(司会：中嶋)
あいさつ(奈良県社保協 会長：藤垣全弘)
- 14:10 「伊賀市社保協の発足」
～地域社保協は二里四方の安心～
(百上宜明氏：三重県伊賀市社保協事務局長)
- 15:00 質疑応答・参加者から意見交流
次回までの課題等申し合わせ
- 16:00 討論終了

当日資料

- ①百上PPT資料
- ②月刊社会保障2025年冬号抜粋(A3)
- ③大和郡山市2025年度キャリアバン実行委員会統一要求書
- ④各分野の要求
- ⑤資料集より各市町村人口、高齢化率データ(A3)

健全会 健康まちづくり推進部：中嶋

TEL：090-4213-8474(中嶋) mail：j-nakajima@kenseikai-nara.jp

奈良県社保協ニュース

2026年4月24日 No.19 奈良県社会保障推進協議会事務局発行
電話：0744-21-3104(担当：西岡) メール：nara3@nara-min.org

大和郡山市で地域社保協結成を！

4/23(木) 大和郡山市における地域社保協結成に向けての学習交流会開催

上記学習交流会を4/23(木)14:00～16:00大和郡山市役所横みりおの2階交流ルームにて行いました。参加者は17名でした。今回は2025年5月に三重県伊賀市で地域社保協を立ち上げた元岡谷会議員、奈良県民連事務局長の百上宜明氏に遠路はるばる大和郡山市に来ていただき、伊賀市社保協立ち上げの経験話を聞いていただきました。その後質問も含めて各参加者の意見交流を行いました。



参加者は、奈良県社保協常任幹事や幹事会長はじめ6名、民医連健全会から4名、郡山市労協1名、救護会1名、郡障連1名、自治労連1名、奈良県民連記者1名、郡山華新報1名、郡山市議1名・・・合計17名

百上さんの話

- ・伊賀市と大和郡山市はほぼ人口規模、高齢化率は似ていますね。また、歴史的にも伊賀と大和郡山はつながりがあるらしいです(百上さんは学習会が始まる前に大河ドラマ記念館に行っていました)。
- ・伊賀市社保協は準備会を3回行って発足。
- ・結成後、市長あいさつ、訪問介護アンケート集計、ヘルパー連結会との懇談で要望書など相談した。伊賀市担当部局との懇談など。
- ・社保協活動の留意点として、要求から出発すること、団体・個人と幅広くつながること、県社保協の統一要望や各団体の市との懇談結果を踏まえた市との懇談を、市に対しては市民生活を向上させるために何ができるかを共に考える場として懇談する、など。

交流では

- ・急いで立ち上げるのではなく、準備会でじっくり議論して立ち上げてほしい。
- ・例年の秋のキャリアバン交渉との兼ね合いをどうするか、議論が必要。
- ・各団体の要求をみんなで交差できるような場があったらいい。
- ・奈良市も地域社保協立ち上げたが開店休業上状態、議員の割りばしの役割をしっかりとしないと。また、周りの声もないと社保協としてまとまらない。

準備会を結成します

- ・また準備会の会議日程調整して案内します。
- ・当面事務局は中嶋が担います。大和郡山市地域社保協結成についての問い合わせは中嶋まで。

健全会健康まちづくり推進部
TEL：0742-24-7322 FAX：0742-24-7333
TEL：090-4213-8474(中嶋)
mail：j-nakajima@kenseikai-nara.jp

奈良県社会保障推進協議会主催

大和郡山市地域社保協結成に向けて 各団体要求交流会(第2回)開催のお知らせ

呼びかけ
奈良県社会保障推進協議会 会長 藤垣 全弘
大和郡山市社保協準備会 事務局 中嶋 潤二

大和郡山市地域社保協結成に向けての学習交流会を4/23(木)午後、大和郡山市役所横みりおの2階交流ルームにて行いました。ご参加いただいた各団体の皆さま、ありがとうございます。

参加者は17名でした。今回は2025年5月に三重県伊賀市で地域社保協を立ち上げた元岡谷会議員、奈良県民連事務局長の百上宜明氏に遠路はるばる大和郡山市に来ていただき、伊賀市社保協立ち上げの経験話を聞いていただきました。その後質問も含めて各参加者の意見交流を行いました。意見の中では「今大和郡山市で立ち上げる必要があるのか」、「各団体で要求実現に向けてそれぞれの担当課との懇談は行っている」、「秋のキャリアバン交渉とのすみわけはどうするか」など、多くの意見がだされ、交流することができました。

伊賀市社保協の学習もうけて、再度各団体の意見交流を下記日程で行うこととしました。今回は大和郡山市議会報告を市議団にお願いし、各団体要求交流を行いたいと思いますので、多くの参加をよろしくお願いいたします。

日時：2026年 6月 6日(土)
時間：14:00～16:00

場所：宅老所げんき跡
片桐民主診療所

内容：

- ①大和郡山市3月議会報告(市議団より)
- ②各団体要求交流
- ③県社保協より方針提起

お問い合わせ：大和郡山市社保協準備会事務局(中嶋)まで
なら健康友の会事務局：TEL0742-24-7322 FAX0742-24-7333
携帯：090-4213-8474(中嶋潤二)
(メールアドレス：j-nakajima@kenseikai-nara.jp)

奈良県社会保障推進協議会主催

大和郡山市地域社保協結成に向けて 各団体要求交流会(第2回)

日時：2026年 6月 6日(土)

時間：14:00～16:00

場所：片桐民主診療所

プログラム

- 14:00～ 第1回目交流集会の報告
- 14:10～ 3月議会報告(郡山市議より)
- 14:30～ 各団体の課題と要求交流
- 15:30～ 今後の活動について
- 15:50～ その他
- 16:00 終了

当日資料

- ①前回交流会報告ニュース(中嶋)
- ②社保協の入門(芝田先生の報告書)(藤垣)
- ③社会保障制度とは(藤垣)
- ④憲法 関係諸法規の一覧表(藤垣)
- ⑤季刊社会保障コピー下呂市社保協(中嶋)
- ⑥福祉医療費助成制度 市町村別自己負担一覧2026.4.1(中嶋)
- ⑦2026平和行進チラシ

その他各団体から資料あれば配布お願いします

お問い合わせ：大和郡山市社保協準備会事務局(中嶋)まで
なら健康友の会事務局：TEL0742-24-7322 FAX0742-24-7333
携帯：090-4213-8474(中嶋潤二)
(メールアドレス：j-nakajima@kenseikai-nara.jp)

奈良県社保協ニュース

2026年6月7日 No.20 奈良県社会保険推進協議会事務局発行
電話：0744-21-3104 (担当：西岡) メール：nara@nara-min.org

大和郡山市地域社保協交流会(2回目)

6/6(土) 片桐民主診療所にて大和郡山市における地域社保協結成に向けての学習交流会(第2回)開催

上記学習交流会を6/6(土)14:00~16:00片桐民主診療所にて行いました。急な提起、また、急な会場変更で迷惑おかけしましたが、各団体から13名の方に集まってくださいました。今回は大和郡山市議に3月議会報告をしていただきました。その後各参加者からの意見交流を行いました。



3月議会報告について意見交流・

- ・介護保険制度における負担限度額の変更では第3段階からの食費分が上がる事が報告。関連して介護事業所への支援をしている自治体も増えてきている中大和郡山市の包括へ委託料増額があったが、それでも下から2番目に低い委託料になっていることが報告されました。
- ・第10期に向けて保険料の引き下げを訴えることが必要
- ・救急車の搬送について、現地到着に10分かかっている、広域になって到着平均11分になっている。1分1秒争う救急搬送時間短縮は真剣に考えてほしい。
- ・会社設立するのにマイナンバーカードでないとダメと言われた。
- ・短期障害者はマイナ保険証にするのに聞かずにいい(人権侵害)、聴覚番号対応できない、など課題多い。
- ・6月議会は6/11~24まで、一般傍聴来てくださいと。



交流会で出された意見は・

- ・障害者団体は年1回担当課との交渉の機会を持っている。個別支援計画の問題、障害福祉サービスのヘルパーの報酬が低いことの問題など懸念。住宅問題では車いす対応にできない問題なども。
- ・障害者の福祉タクシー券年/35枚買ってるが利用しようとしてもタクシーつかまらない。デマンドタクシーが始まったが、基本的に停留所まで行かないといけないので利用できない。
- ・各団体の弱体化、機能しているかの問題、社保協の課題はたくさんあり、大事な事なのでこういう学習を重ねて形作っていかないと。
- ・介護員より7つの問題点、①要介護認定委託料奈良市より770円安い3630円、②訪問看護、介護4、5に限定された。③訪問入浴事業所1か所しかない、④通所デイ事業所人口比で郡山市少ない、減少している、⑤ヤングケアラー条例できたが、何かしてる？、⑥ケアマネがやれることやれないこと明確に広報を(桜井市はしてる)、⑦第10期介護支援計画に向けてアンケートしてるがケアマネにきてというのはどうか

今後の活動について提起・

- ①憲法9条を守る運動を・署名行動、平和行進(6/29郡山)に参加しよう。
- ②郡山市担当課との懇談・生活保護のエアコン設置、・子ども医療費無償化に
- ③社会保障の学習を進めながら秋のキャラバン交渉へ。

次回：7月4日(土)14:00~ 小泉診療所にて

大和郡山市社保協準備会事務局(中嶋)

- ・当面事務局は中嶋が担います。大和郡山市地域社保協結成についての問い合わせは中嶋まで。

健生会健康まちづくり推進部
TEL: 0742-24-7322 FAX: 0742-24-7333
TEL: 090-4213-8474 (中嶋)
MAIL: j-nakajima@kenseikai-nara.jp

2026.6.6大和郡山市社保協立ち上げに向けての交流会(第2回目)

今後の活動について

①憲法9条を守る運動を・大和郡山デモ! ~平和行進in郡山~

2026年2月の衆院総選挙では自民党単独で3分の2を超える議席を獲得し、その他を含めると改憲勢力が圧倒的多数の議席を占めました。高市政権によって改憲の流れが急速に進む一方で、改憲に反対する多くの市民が国会前を取り囲むなど大きな市民運動が起こっています。大和郡山市でも憲法9条を守る運動、署名行動に取り組みます。全国的に展開されているペンライトデモに参加し、街頭宣伝行動などを郡山でも展開しましょう。毎年原水爆禁止世界大会に向けて行われる網の目国民平和大行進は今年は6/29に大和郡山市に到着します。積極的に参加しましょう。

②7/18奈良県社保協定期総会に結集を!

日時：2026年7月18日(土)13:00~
場所：健生会事務所会議室

③大和郡山市議会に向けて 傍聴&担当課との交渉を

(1)生活保護世帯のエアコン設置の要求・奈良市では生活保護世帯でエアコンがない世帯の調査を行い、1人上限5万円までの支給を3月議会で予算化しました。ここに到達するまでには3年にわたりキャラバン実行委員会と奈良市保護課との申し入れ・懇談を行ってきたことによる成果です。地球温暖化、異常気象により年々暑くなってきている状況でエアコン設置は必須となっています。昨年の救急搬送件数は前年度をはるかに上回り、今年も引き続き猛暑の予報がされています。昨年度の熱中症死亡事例は大和郡山市の万1件でした。早い段階で担当課との懇談をおこない、切実な訴えをする必要があります。

(2)福祉医療制度改善の取り組み・福祉医療制度(子ども・心身障害・ひとり親)は各自治体の制度となっていますが、多くの自治体で一部負担金は無料になっています。奈良県社保協として奈良県に対して要請行動を行っています。各自治体担当課との懇談も必要です。今年度から山添村、三宅町が自己負担なしの完全無償化となり、五條市も今年度のうちに無償化となる見込みです。それで23自治体が完全無償化となります。大和郡山市の担当課との懇談を設定します。

④社会保障の学習を進めながら秋のキャラバン交渉へ

今日の交流会では社会保障の学習資料を準備しています。奈良県社保協としても、郡山市社保協準備会としても学習会を計画し、秋のキャラバン交渉へつなげていきましょう。

⑤今後の活動方針タイムスケジュール

6月29日(月)	国民平和行進 11:30~郡山市役所 ~班鳩役場まで行進
7月18日(土)	14:00~健生会事務所にて 奈良県社保協定期総会
7月 日()	郡山市社保協立ち上げに向けての交流会(第3回目)
8月 日()	郡山市社保協立ち上げに向けての交流会(第4回目)
9月	奈良県国民大運動総会 郡山市キャラバン実行委員会結成



大軍拡より社会保障の充実を!